

生駒市体育施設指定管理者募集に伴う応募者からの提案内容等の概要

		一般財団法人生駒市スポーツ協会
管理運営方針	施設の管理運営に関する基本方針	・地域住民を中心に人々をつなぐ、スポーツ・健康プラットフォームとして施設の運営を行う ・過去15年間の市体育施設の管理運営の実績に基づき、地域の特性にも対応した適正かつ有効な施設経営の実施 ・「生駒市スポーツ推進計画」及び「生駒市北部スポーツタウン構想」推進のため、市民のだれもが気軽にスポーツに親しめるように生き甲斐づくり、健康づくりに寄与する充実した生涯スポーツ事業の展開
管理運営業務	運営体制（組織）・人員体制	【各施設シフト制の勤務】 ・イモ山公園体育施設：管理責任者1名、職員4名（プール営業は、プール管理専門業者に委託） ・北大和体育施設：管理責任者1名、職員4名 ・総合公園体育施設：管理責任者1名、職員4名 ・滝寺公園体育施設：管理責任者1名、職員4名 ・むかいやま公園体育施設：管理責任者1名、職員3名 ・小平尾南体育施設：管理責任者1名、職員3名 ・生駒北スポーツセンター：管理責任者1名、職員6名 ・事務局：総管理責任者1名、総副管理責任者2名、職員1名 【各種研修会等の実施】 ・勤務職員に対し、接遇研修、人権研修、情報公開及び個人情報保護に関する研修、基礎事務研修、施設維持管理に関する研修、危機管理に関する研修等の内部研修や外部研修を実施
	利用者サービス向上・利用促進	・総合型地域スポーツクラブの本来の機能であるコミュニティの形成により、細やかなニーズの把握、参加者同士の交流促進、ロコミによる利用者増加を図る ・スポーツ協会加盟競技団体の利用促進を図る ・県体協等との連携による大会、イベントの誘致を進める ・年齢層に合わせた適正な情報発信（チラシの配布、ホームページやSNSの活用） ・アンケートの実施や質問対応窓口の設置
	安全管理・救急体制	・施設や備品等の日常点検 ・熱中症予防対策 ・危機管理研修、火災・防災訓練、救命講習等の受講 ・危機管理マニュアルの作成
	環境配慮への取組	・環境マネジメントシステムに基づいた活動 ・施設内の照明機器LED化 ・環境配慮車両の採用 ・植栽等の整備 ・ゴミリサイクル、節電、節水意識向上 ・トイレトペーパーに「いこま紙」の利用等 ・近隣自治会や利用者との協働してのクリーンキャンペーンの実施 ・SDGsの取組の推進
	地域貢献等	・市内居住者の雇用 ・障がい者支援団体等との連携による障がい者の雇用を検討 ・地元業者への発注 ・地域の環境保全の貢献活動 ・学校部活動の地域移行を見据えた新たな地域クラブ活動推進事業において、実施主体として活動場所の確保や指導者の確保等支援体制の構築 ・中学生の職場体験の受け入れ ・地域住民等への憩いの場の提供
自主事業の取組	創意工夫ある自主事業の取組	・事業運営等サポーターとの連携による、シテプロモーションに資するトップアスリートとの連携事業の実施 ・学校部活動の地域移行を見据えた新たな地域クラブ活動推進事業において、実施主体として活動場所の確保やスポーツ協会各競技団体及び実業団、プロチームからの指導者確保 ・ITツールなどの夏季の酷暑に対する事業 ・国民スポーツ大会の円滑な競技実施の協力や、生駒市開催種目の出場競技団体への練習場所の提供及び練習風景の見学を通じた賑わいの創出
	生駒北スポーツセンターの設置目的を達成するための自主事業の取組	・バルサアカデミー（世界レベルのサッカークラブによるサッカー教室）奈良校の開催 ・クラブハウスを活用した、自主事業参加者や地域住民等への憩いの場の提供
	指定管理料の減額や経費の縮減を図ることができる効果的な提案	・体育施設（体育館、野球場、グラウンド、テニスコート）の各照明機器LED化による経費削減
	総合型地域スポーツクラブ及び障がい者のスポーツ活動推進の取組	・現在も運営している総合型地域スポーツクラブ「いこ増ッスルクラブ」による、市民のだれもが気軽に参加できる多種多様な活動の展開及び活動を通して地域の人々の健康づくりや生き甲斐づくり、コミュニティ形成の場となる事業の推進 ・生駒市の障がい者スポーツ支援事業への全面的な協力 ・総合型地域スポーツクラブによる障がい者関係団体と連携した障がい者スポーツの推進事業
経費の縮減（指定管理料）		1,114,500千円（年額222,900千円×5年）
収入が支出を上回った場合の市との配分割合		全額市へ納入